

# 紫波医報

令和5年7月号

No. 244



## 紫波医報244号目次

巻頭言(関 英政先生) .....	3
紫波郡医師会定例総会報告 .....	4
紫波郡医師会定例理事会報告 .....	6
紫波郡地域包括ケア推進支援センターから .....	10
講演会・研修会 .....	12
紫波郡医師会学術講演会(多田 広志先生) .....	13
紫波郡医師会学術講演会(渡邊 立夫先生) .....	14
東日本大震災に関わる取り組み(西澤 匡史先生) .....	15
新入会員 .....	17
会員の移動 .....	19
令和5年度役員及び事業担当 .....	20
令和5年度学校医一覧 .....	21
令和5年度健診・予防接種等実施医療期間 .....	22
編集後記 .....	23

表紙のことば 湖面をわたる風が爽やかな7月の八幡平は、花が咲き乱れ、動物や昆虫達も短い夏を楽しんでいるよう。  
冬の景色とは異なる命あふれる八幡平。四季が繰り返されるといふことのありがたさを忘れないようにしたいものです。

令和3年7月 八幡沼展望台付近から撮影  
(紫波郡地域包括ケア推進支援センター 伊藤 信一)

## ❖ 巻頭言

## 「ウィズコロナ」は続く

紫波郡医師会 関 英 政

日本では2020年1月15日に最初のコロナ感染者が確認されてから5月12日までに46都道府県において合計15,854人の感染者、665人の死亡者が確認されました。岩手県では初の新型コロナ感染者が確認されたのが全国の中で最も遅い7月29日であったことを覚えているでしょうか。(1例目が報道された際は職場やネット上には感染者に対し誹謗中傷が相次ぎました…嘆かわしいことです) その後は県内もあっという間にパンデミックの波にのまれ世界的な流行が続きます。当時の安倍首相は抑圧策に舵を切り、我々の生活は大きく変化し、緊急事態宣言が発出され行動制限、外出自粛が要請され経済は大打撃を受ける結果となりました。

幾度もの感染流行が繰り返され東京オリンピックも延期された挙句、2021年無観客開催となりました。コロナ感染者の増加に伴い医療提供体制の逼迫がおこり、政府は感染対策の徹底を呼び掛けるも次第に社会は「コロナ慣れ」になってきました。その後政府は社会経済活動を優先する方針をとり、2022年暮れには第8波の感染の真ただ中、基幹病院の医療逼迫が続く中でも世の中は行動制限もなく、交通機関や街中はコロナ禍前に近い賑わいをみせた年末年始でした。

2023年1月政府は新型コロナウイルス感染症を5月から5類感染症に位置付けることを決定。3月13日からは個人の判断に基づくという曖昧さは残るものの、マスクの使用は特定の場面を除いて不要となり「個人の判断に委ねる」としました。世の中は見た目上コロナ禍前に近づいていきます。日本中がWBCの優勝に沸いた3月でしたが、その後は人々の活動はほぼコロナ禍前に戻ったという状況で、ゴールデンウィーク中には全国各地の観光地が久しぶりに賑わったとのニュースが多く伝えられ、日本もようやく「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換しつつあると云われる様になりました。連休後の5月8日には「5類感染症」に移行するに伴い新規感染者数の全数把握も最後となり、それに伴い法律に基づく外出自粛は求められず、感染者の自宅療養や濃厚接触者の自宅待機などの療養制限も廃止となり現在に至っています。

5類感染症に移行後約1か月、全国的に第8波は落ち着いている状況ではありますが、少しずつコロナ陽性患者は反転増加傾向にあるようです。令和5年5月29日から6月4日までのコロナウイルス感染症定点当たりの報告数を見ても岩手県は全国的に見て非常に高い感染率を示しています。社会は経済活動を継続する方針をとっていますがコロナウイルスそのものは無くなっておらずウイルス自体も変異をし続けており、今後も感染流行の波を繰り返すことが予想される中、医療機関や高齢者施設、混雑する交通機関を利用する際はマスクを着用するなど引き続き基本的な感染対策が大切です。我々医療機関は「ウィズコロナ」に対応する新たな体制づくりをしながら緊密な協力のもと地域住民に安心な医療を提供する必要に迫られています。

# 令和4年度紫波郡医師会定例総会

日時：令和5年5月22日（月）19：00～20：00

場所：ケアセンター南昌 5階南昌ホール

会員総数：78名 出席会員数：56名  
(内委任状25名)



【進行】理事 野崎 有一先生

(1) 開会挨拶 副会長 藤島 幹彦先生

(2) 会長挨拶 会長 木村 宗孝先生

(3) 令和4年度表彰受章者

(4) 新入会員の紹介

(5) 出席者及び委任状の確認

理事 堀江 圭先生より、本日の社員総会は定款第21条の所定数を満たしたので有効に成立する旨を報告した。

(6) 議長及び議事録署名人の選出

議長及び議事録署名人の選任を諮ったところ執行部一任となり、理事 田中健太郎先生からの提案のとおり、次の者が満場一致をもって選任された。

議長 小原 進先生、議事録署名人 関 英政先生及び箱崎 誠司先生

(7) 報告事項

(1) 令和4年度事業報告 理事 佐藤 義浩先生より報告

(2) 令和5年度事業計画 副会長 加藤 博巳先生より報告

(3) 令和5年度収支予算 理事 箱崎 誠司先生より報告

(8) 議 事

議案第1号 令和4年度収支決算について議決を求める件

理事 関 英政先生から令和4年度収支決算について議案書に基づき説明があり、長谷川会計事務所及び監事2名が事業及び会計について監査を実施し、適正に処理されていることを報告した。

議長は議案第1号について議場に諮り、満場一致をもって異議なく可決した。

議案第2号 定款の一部変更について議決を求める件

理事 早坂 朗先生から、定款第4章総会 第23条（書面または電磁的方法による議決権の行使並びに議決権の代理行使）について、書面開催に係る全員の同意を求める事項の追加について議案書に基づき説明があった。

議長は議案第2号について議場に諮り、満場一致をもって異議なく可決した。

議案第3号 お盆期間の当番医の設定および受付時間の短縮について議決を求める件

理事 松尾 力先生から議案第3号について議案書に基づき説明があり、今後、必要に応じて理事会にて決定することを提案した。

議長は議案第3号について議場に諮り、満場一致をもって異議なく可決した。

以上をもって議事の全部を終了したので、議長は午後7時50分閉会を宣した。

(9) 紫波郡地域包括ケア推進支援センターより事業報告 伊藤信一所長

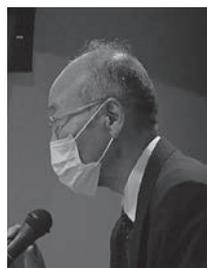
(10) 閉会の辞 加藤 博巳副会長 午後8時終了



野崎先生(進行)



木村会長



藤島副会長



加藤副会長



小原先生(議長)



多田先生



田代先生



加藤先生



堀江先生



田中先生



佐藤先生



箱崎先生



関先生



早坂先生



松尾先生



渡邊先生



伊藤所長



## 令和4年度第10回定例理事会報告

日時：令和5年1月16日(月) 18:30～

場所：ケアセンター南昌よりZOOM配信

- (1) R5年度休日救急当番医について、お盆の当番医及び受付時間短縮について協議
- (2) 紫波町介護認定審査会委員について、新たに藤井正範先生を推薦
- (3) 矢巾町介護認定審査会委員について、小原進先生、関英政先生、佐藤義浩先生を継続して推薦。
- (4) 産業医の募集について、ライフサポートエガワより打診の件は孝仁病院に決定
- (5) 子宮頸がんワクチンについて、間違い接種報告及び4月からシルガードが助成開始説明
- (6) お正月期間の発熱外来について、医大医師派遣を含め総計141人の検査を実施
- (7) 新型コロナワクチン接種体制について、紫波町・矢巾町集団接種は3月で終了
- (8) 感染状況について(1/15現在)、コロナ感染症の他インフルエンザも蔓延

## 令和4年度第11回定例理事会報告

日時：令和5年2月20日(月) 18:30～

場所：ケアセンター南昌よりZOOM配信

- (1) 岩手県立高等学校の産業医について(1年更新)堀江 圭先生を継続して推薦
- (2) 矢巾町障害者自立支援協議会委員について(R5.4～R8.3まで)、伊東宗行先生を継続して推薦。
- (3) R4年度仮決算及びR5事業計画並びに予算について協議
- (4) 令和5年度紫波郡医師会定例総会について、4月24日(月)に開催予定
- (5) 新型コロナワクチン接種体制について、集団接種を両町ともに1か月繰り上げ2月で終了
- (6) 感染状況について、当番医1日で140名受診、うち80名がインフルエンザ感染症
- (7) 紫波郡医師会学術講演会の申込みについて、3/16骨粗鬆症治療連携セミナーを了承
- (8) 事務局職員の採用について、4月より、週3日のパート職員採用を承諾

## 令和4年度第12回定例理事会報告

日時：令和5年3月20日(月) 18:30～

場所：ケアセンター南昌よりZOOM配信

- (1) 紫波町・矢巾町障害者支援区分認定審査会委員について、伊東宗行先生、伊藤欣司先生を継続して推薦
- (2) 紫波町要保護児童対策地域協議会委員について、武藤秀和先生を継続して推薦
- (3) トルコ・シリア地震への医療支援(寄附)について承認
- (4) 紫波町・矢巾町定期予防接種・高齢者肺炎球菌予防接種の実施医療機関について照会
- (5) R4年度決算について、長谷川会計事務所の監査及びR5事業計画並びに予算を確定
- (6) 令和5年度紫波郡医師会定例総会について、場所：さわやかハウス、形式：集合とする

- (7) 岩手県医師会生涯教育講座について、カリキュラムコード付与単位を1演題1コードとする
- (8) 新型コロナワクチン接種体制について、5/8以降、65歳以上高齢者と医療従事者の接種開始（一般は9月以降、費用は国が負担）
- (9) 感染状況について、当番医においてのコロナ陽性及びインフルエンザ等発熱患者多数報告

## 令和5年度第1回定例理事会報告

日時：令和5年4月17日(月) 18:30～

場所：ケアセンター南昌よりZOOM配信

- (1) 岩手医学会評議員について、関 英政先生を継続して推薦
- (2) 岩手県医師会学校医部会活動報告及び活動計画の作成について、佐藤義浩先生に依頼
- (3) 岩手県医師会総会における表彰会員について、本年は5人を推薦
- (4) 紫波町高齢者安心ネットワーク推進協議会委員について、新たに加藤博巳先生を推薦
- (5) 紫波町予防接種健康被害調査委員について、加藤博巳先生を継続して推薦
- (6) 矢巾町予防接種健康被害調査委員について、伊東宗行先生を継続して推薦
- (7) 岩手紫波管内合同老人ホーム入所判定委員会委員について、中島國博先生を継続して推薦
- (8) 紫波医報のデジタル化について、紫波郡医師会HPの「会員のページ」に掲載を承認
- (9) 令和5年度定例総会について、5月22日(月)19:00～ ケアセンター南昌5階ホールへ変更調整（4/24盛岡圏域医療体制連携会議と重複のため）
- (10) 新型コロナワクチン接種体制について（5/8以降高齢者・医療従事者、その他秋1回無料）
- (11) コロナ感染症5類移行後の体制について、5/1診療所向け説明会開催  
現行の診療・検査医療機関は、「外来対応医療機関」へ名称変更、県のホームページに公表  
発生の報告義務は、定点医療機関のみ（渡辺内科医院・紫波中央小児科・けんたろうこどもクリニック）  
新たに外来対応医療機関となった機関へ、空気清浄機・パーテーション等の購入支援は継続、内科の全医療機関が、検査体制をとれるような仕組みの再考、ホームページへの掲載
- (12) 感染状況について
- (13) 生涯教育講座の申請について、6/30(金)「心不全予防を見据えた血圧管理」(ノバルティス)承認

## 令和5年度第2回定例理事会報告

日時：令和5年5月18日(月) 18:30～

場所：ケアセンター南昌よりZOOM配信

- (1) 盛岡圏域医療連携推進（地域医療構想調整）会議について、木村宗孝先生を継続して推薦
- (2) 岩手県立中央病院地域医療連携委員について、木村宗孝先生を継続して推薦
- (3) 紫波町元気はつらつ委員について、直島淳太先生を継続して推薦

- (4) 紫波町いのち支える自殺対策協議会委員について、1名減として伴 亨先生を推薦
- (5) 带状疱疹ワクチン接種助成について、紫波郡医師会の対応を検討
- (6) 令和5年度定例総会について、5月22日(月)19:00ケアセンター南昌で開催と決定
- (7) 新型コロナワクチン接種体制について、高齢者と医療従事者等の6回目接種を5/8から予約開始
- (8) コロナ感染症状況について、5/8以降は定点報告の集計とする  
「外来対応医療機関」へ、紫波地域診療センターが新規登録  
新たに外来対応医療機関となった機関へ、備品購入支援は9月まで継続  
10月より内科の全医療機関において、検査が実施できる体制の構築について協議

## 令和5年度第3回定例理事会報告

日時：令和5年6月20日(月) 19:00～

場所：ケアセンター南昌よりZOOM配信

- (1) 7/13(木)社会保険医療担当者の新規個別指導の実施について、藤島副会長が立会
- (2) 带状疱疹予防接種に係るアンケート調査の実施について、令和4年度の診療数・相談件数及び助成希望の有無を取りまとめ町に対して要望書を提出予定(7/5矢巾町、7/10紫波町)
- (3) 医療機関の休診について(7/28～8/16まで)
- (4) 新型コロナワクチン接種体制について、65歳以上高齢者及び医療従事者が順調に実施
- (5) コロナ感染症5類移行後の体制について、盛岡医療圏として連絡会開催を継続

### ● 事務局からのお知らせ ●

会員の先生方で、入会時以降に住所や勤務先、その他下記の変更等がございましたら、医師会事務局までお知らせください。

- ①氏名変更
- ②施設名称の変更(法人化も含む)
- ③施設所在地・電話番号等の変更(住居表示の変更も含む)
- ④自宅現住所・電話番号等の変更(住居表示の変更も含む)
- ⑤施設異動(勤務先の変更等・自宅会員への異動も含む)
- ⑥文書配達先の変更
- ⑦本人・家族の慶弔
- ⑧褒章等を受章された場合

また、病院・診療所を休院や廃止される場合や診療時間に変更等が生じた際も、お手数ですが、医師会事務局までお知らせください。 紫波郡医師会事務局

## 2023年 会務報告(1月～6月)

1/16	月	盛岡地域県立病院運営協議会	岩手県立中央病院	15:00	木村
1/28	土	岩手県医師会産業医・スポーツ医研修会	岩手県医師会館	14:00	会員
1/28	土	岩手県県央保健所運営協議会	書面会議に変更		木村
2/4	土	第4回郡市医師会会長協議会(理事会15:30)	岩手県医師会館	16:00	木村
2/10	金	新型コロナワクチン接種打合せ(紫波町・矢巾町)	南昌病院	11:00	木村、事務方
2/14	火	第2回矢巾町成年後見制度利用促進審議会	さわやかハウス	15:00	木村
2/14	火	盛岡赤十字病院第4回地域医療支援委員会	日赤よりWEB配信	17:00	木村
2/15	水	盛岡圏域医療連携推進(地域医療構想調整)会議	県央保健所からWEB配信	18:30	代・藤島
2/18	土	岩手県医師会臨時代議員会	岩手県医師会館	15:30	木村・藤島
2/19	日	都道府県災害医療コーディネーター研修	日本医師会館(文京区)	10:10	箱崎
2/21	火	矢巾町防災会議	矢巾町公民館	14:00	木村
2/27	月	盛岡地区二次救急医療対策委員会	盛岡市医師会館	19:00	木村
3/2	木	紫波郡地域包括ケア推進協議会	WEB配信	13:00	木村・野崎
3/16	木	紫波郡医師会学術講演会(アムジェン)	やはパーク/ハイブリット	19:00	野崎、多田
3/22	水	矢巾町子ども・子育て会議	さわやかハウス	15:00	田中
3/22	水	岩手県社会保険医療担当者指導関係打合せ会	岩手県医師会館	19:00	木村
3/24	金	矢巾町健康づくり協議会	さわやかハウス	18:00	木村(委)
3/27	月	矢巾町高齢者保健・介護事業一体化会議	さわやかハウス	14:00	事務局
3/27	月	新型コロナワクチン接種体制説明会(紫波町)	紫波町役場/WEB	18:00	紫波町施設
3/28	火	新型コロナワクチン接種体制説明会(矢巾町)	さわやかハウス/WEB	18:00	矢巾町施設
3/28	火	日赤臨床研修管理委員会	盛岡赤十字病院	16:00	(代)木村
4/8	土	第5回郡市医師会会長協議会(理事会15:30)	岩手県医師会館	16:00	木村
4/11	火	盛岡医療圏医療体制移行に係る打合せ	合同庁舎	10:00	伊藤、事務局
4/24	月	盛岡圏域医療体制連携会議(県央保健所)	合同庁舎8階	18:00	木村、伊藤
5/1	月	コロナ感染症医療提供体制移行説明会	県央保健所からWEB配信	18:30	会員
～5/31		コロナ感染症医療提供体制移行説明会	オンデマンド配信		希望者
5/15	月	盛岡医療圏入院体制連絡会議(Bグループ)	県央保健所からWEB配信	17:30	木村、伊藤
5/20	土	第6回郡市医師会会長協議会(理事会3:30)	岩手県医師会館	16:00	木村
5/22	月	令和5年度紫波郡医師会定例総会	ケアセンター南昌5階	19:00	出席36名
5/24	水	紫波町要保護児童対策地域協議会	紫波町役場	13:00	武藤
5/25	木	いきいき岩手支援財団第52回理事会《県医》	いきいき支援財団	10:00	木村
5/29	月	盛岡医療圏入院体制連絡会議(Bグループ)	県央保健所WEB開催	17:00	木村、伊藤
6/5	月	盛岡赤十字病院地域医療支援委員会	WEB開催	17:30	木村
6/10	土	第192回岩手県医師会定例代議員会	岩手県医師会	15:30	木村、加藤
6/14	水	岩手県対がん協会評議員会	メトロポリタンNW	15:30	木村
6/19	月	盛岡医療圏入院体制連絡会議(Bグループ)	県央保健所WEB開催	17:30	木村、伊藤
6/26	月	岩手県医師会勤務医部会幹事会	WEB開催	18:00	松尾
6/26	月	盛岡地区二次救急医療対策委員会	盛岡グランドホテル	19:00	木村
6/27	火	岩手県社会福祉協議会評議員会《県医》	ふれあいランド	10:00	木村
6/30	金	学術講演会「心不全予防」(ノバルティス)	岩手教育会館203	18:00	渡辺

## 紫波郡地域包括ケア推進支援センターから

～ 紫波・矢巾両町共同設置の医療介護連携支援センター（れんけいしわぐん）～

◇ 紫波郡医師会の皆様には、当支援センターの事業推進にあたり多大なる御理解と御支援をいただいておりますことに御礼を申し上げます。

当支援センターでは、今年度、次に掲げる7つの事業の取組方向により紫波郡内の地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んで参ります。引き続き御指導、御支援をお願いいたします。

### ◆ 令和5年度（2023年度）事業の取組方向

#### 1 地域の医療・介護の資源の把握

地域の医療機関、介護事業者の所在地、連絡先、機能等の情報収集を行い、地域医療・介護資源情報（リスト、マップ）を更新し、医療・介護関係者に提供します。

#### 2 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

本協議会や地域ケア会議など地域の在宅医療・介護に関わる多職種等が参画する会議や研修等意見交換の場等において、医療・介護連携に関する現状の把握と課題の抽出、課題解決に向けた対応策の検討を行います。

#### 3 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築の推進

地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制（地域包括ケアシステム）の構築を目指した取組の企画・検討を行います。特に、ICT機器の活用を含む情報共有等の円滑化支援のあり方などを検討し、必要な支援を行います。

#### 4 在宅医療・介護連携に関する相談支援

地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助を行います。

また、必要に応じて、退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整や、患者、利用者又は家族の要望を踏まえた医療機関等・介護事業者相互の紹介を行います。

#### 5 地域住民への普及啓発

地域医療・介護資源マップやパンフレットの作成・配布、ホームページへの掲載・情報提供等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進します。

#### 6 医療・介護関係者の情報共有の支援

情報共有の手順等を含めた情報共有ツールの整備や、地域の医療・介護関係者間の情報共有の支援を行う。また、既存ツールの活用やその活用状況の把握・改善の必要性等について検討します。

#### 7 医療・介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修のほか、ICTを活用した連携に関する研修を行います。

○ 在宅療養に関する多職種連携研修会等の開催（予定）

区 分	主な対象等	開催予定日・回数
1 ICTを活用した医療・介護連携に関する研修	ケアマネ・訪看・医療機関・介護事業所等	令和5年11月の予定（1～2回）
2 入退院等支援・連携研修	病院・ケアマネ・訪看・相談支援等多職種	令和5年7月28日（1回）
3 認知症対応力向上研修	かかりつけ医・多職種	令和5年10月3日（1回）
4 在宅療養・多職種連携研修（ACP・意思決定支援等）	医療人材（医科・歯科・薬・看・リハ・栄養・MSW等）・ケアマネ・相談支援等多職種	令和5年10月18日（1回）
5 地域リハビリテーション研修（共催：紫波・矢巾地域包括C、盛南リハ支援C）	ケアマネ・介護等多職種	令和5年10月以降の予定（1～2回）

○ 紫波町・矢巾町の少子高齢化、稼働年齢層の減少について

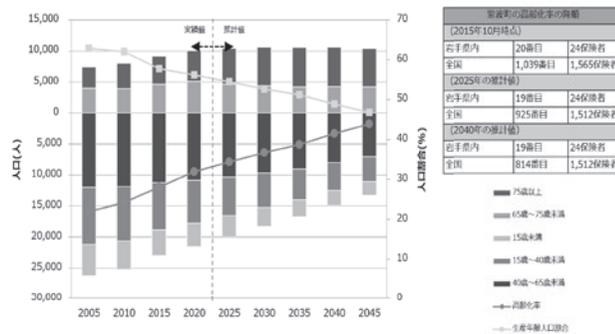
全国的に少子・高齢化、人口減少が続いており、こうした人口構造の変化に対応するため、国においては、「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」が5月19日に公布されるなど、大きな変革の時期となっています。

両町の人口推移をみると、今後65歳以上の人口が多い状況が続く、特に医療と介護を要する割合が高くなるといわれる75歳以上の高齢者の割合が高くなるという推計が出ています。

一方、稼働年齢層（15歳以上65歳未満）の人口は減少を続けていくことになり、医療・介護の支え手不足が懸念される状況にあります。

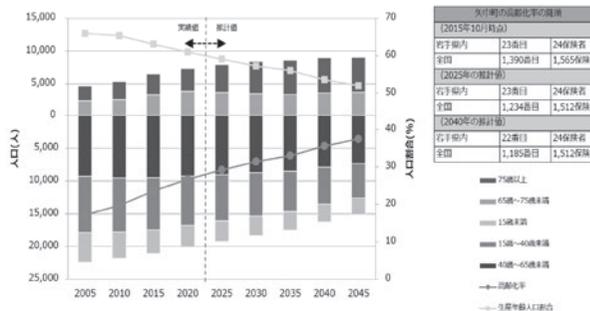
こうした状況を踏まえると、ICTを活用した効率の良い医療・介護連携の促進、魅力ある医療・介護現場づくりによる若年労働者の参入促進、外国人労働者の受け入れ等に取り組んでいく必要があると考えられます。

紫波町の人口の推移



(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」  
2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

矢巾町の人口の推移



(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」  
2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

◀ 講演会・研修会 ▶

◎3/16(木) 紫波郡医師会学術講演会

やはぱーくよりZOOM配信 19:00 参加18名

座長 野崎内科・神経内科医院 院長 野崎 有一 先生

「紫波郡・盛岡市における骨粗鬆症治療連携について  
～骨粗鬆症による骨折を無くすために取り組みたいこと～」

講師：紫波整形外科クリニック 多田 広志 先生



◎6/30(金) 紫波郡医師会学術講演会

岩手教育会館/ハイブリット 18:50 参加27名

座長 渡辺内科医院 理事長 渡邊 立夫 先生

「心不全予防を見据えた血圧管理」

講師：南三陸病院 副院長 西澤 匡史 先生



◎5/1(月) 新型コロナウイルス感染症の医療提供体制移行に係る説明会(病院・診療所)

岩手県央保健所WEB配信 18:30～20:00 会員

◎5/27(土) 新型コロナウイルス感染症の医療提供体制移行及び

施設における感染症対策に係る説明会(診療所・高齢者施設向け)

岩手県央保健所WEB配信 14:00～15:30 会員



## 紫波郡医師会学術講演会

## 紫波郡・盛岡市における 骨粗鬆症治療連携について 骨粗鬆症による骨折をなくすために取り組みたいこと

紫波整形外科クリニック

多田 広志 先生



2022年6月に紫波整形外科クリニックを開業しました。前職の岩手医大では骨軟部腫瘍が専門でした。椎体骨折に潜む腫瘍性疾患である多発性骨髄腫やがんの骨転移が得意分野です。まず多発性骨髄腫についての私の調査を紹介します。多発性骨髄腫の患者さんが受診の契機となった症状は腰痛が多く整形外科初診が45%ですが、整形外科での見逃しは非常に多いです。椎体の骨病変は基本的に不可逆性で、骨折を起こす前の早期発見が重要です。開業後は腰痛の中で見逃してはいけない疾患をしっかりと診断し地域住民に安心を届けたいと考えています。

さて骨粗鬆症は、骨の脆弱性が増大し、骨折の危険性が増大する疾患です。引き起こされる骨折として多いのは胸腰椎椎体骨折、大腿骨近位部骨折です。胸腰椎椎体骨折は脊柱後弯変形により腰痛・胃食道逆流・呼吸機能障害などを引き起こします。椎体骨折が1つあるだけでドミノのように次々と骨折します。大腿骨近位部骨折は増加傾向にあり20年で2倍です。骨折後1年でADLが自立している人は50%で10%は死亡していると報告されています。骨粗鬆症の予防と治療ガイドラインによると、骨粗鬆症の診断は大腿骨近位部骨折・椎体骨折があれば骨粗鬆症、骨折がなければ骨密度測定でYAM 70% (T-score - 2.5SD)以下とされています。骨密度測定はDXA法で腰椎・大腿骨近位部が推奨されており、前腕骨は第2選択です。MD法は第2中手骨を計測しますが治療効果判定はできません。超音波を用いたQUS法は診断に用いる検査としてはガイドラインでは採用されていません。骨粗鬆症の治療薬にはビスフォスフォネートや選択的エストロゲン受容体調節薬、活性化ビタミンD、副甲状腺ホルモン、抗RANKL抗体、抗スクレロシン抗体などがあります。

問診では身長低下、既往歴、骨折歴、骨折の家族歴、喫煙、アルコールなどの危険因子を聴取します。採血ではTRACP-5b、P1NP、25(OH)D、Ca、P、ALP、BUN、Cre、TP、A1b、血算をチェックします。治療薬は高度の骨粗鬆症では副甲状腺ホル

モン、抗スクレロシン抗体、抗RANKL抗体を用います。内服薬にも、それぞれ固有の副作用があり注意が必要です。顎骨壊死の予防については歯科との連携が重要です。骨粗鬆症治療は継続が重要であり、かかりつけ医で処方して頂くのが患者さんの利便的にも良いと考えています。ただ、骨密度検査はガイドラインで推奨される腰椎・大腿骨のDXAが診断と治療効果判定に重要です。検査だけでも当院へご紹介頂ければ検査してお返ししますので、是非ご活用頂ければと思います。よろしくお願いします。

## ❖ 紫波郡医師会学術講演会

# 心不全予防を見据えた血压管理

講師：南三陸病院  
副院長 西澤匡史先生

座長：渡辺内科医院  
理事長 渡邊立夫先生



西澤匡史先生は、自治医科大学を1997年に御卒業のあと、公立志津川病院、公立南三陸診療所を、その後、公立志津川病院副院長を経て2015年から公立南三陸病院副院長に御就任されております。

特筆すべきは、東日本大震災では南三陸町医療統括本部責任者として、後に宮城県災害



医療コーディネーターとして災害医療の陣頭指揮をとられております。

東日本大震災では、岩手県においても、釜石市をはじめとした多くの被災地で率先して医療や災害復興を支えた多くの天晴れな医師たちがおりましたが、彼もその一人であったということです。

今回の講演では、実臨床の場で疫学調査から判明したことを教えていただきました。東日本大震災で被災された後、母校・自治医科大学の循環器内科・苅尾七臣先生のご協力を得て、家庭血圧と24時間血圧計のデータを中心とした疫学調査を行いました。

その結果、夜間高血圧は心不全を引き起こしやすく、一度、心不全になれば四分の一は1年で死亡するため、何がなんでも平均血圧を下げる必要がある。エンレストには夜間高血圧を強力に下げる効果がある。Ca拮抗剤は日内変動の幅を小さくする効果

を期待できるため、前もって投与した方が良い。心房細動や左心室肥大、心雑音、NT-proBNPが高い患者さんには早期に介入する必要がある。アジルバを投与しても降圧が不十分やすで利尿剤の投与例もエンレストへ切り替える価値がある。

ただし、脱水になりやすい人、食事が不確実な人は過剰降圧になりやすいためエンレストの投与は避けた方が良いとのことでした。

まだまだ、実臨床で即使える内容が複数ありましたが、紙面の関係上、書ききれないことをお詫び申し上げます。

(文責 渡邊 立夫)

共催 紫波郡医師会/ノバルティスファーマ株式会社/大塚薬品株式会社

## 東日本大震災に関わる取り組み (2019年自治医科大学HP)のご紹介

南三陸病院 副院長 西 澤 匡 史 先生

### 【苅尾先生との出会いとDCAPネットワークシステムの導入】

東日本大震災から8年がたちました。宮城県南三陸町では津波により町内の医療機関は全壊したため、私は南三陸町最大の避難所となったベイサイドアリーナで全国から来た医療支援チームを束ね、災害医療の陣頭指揮を執りました。震災後しばらくは、医師は私一人だけで、薬を求める避難者が救護所に長蛇の列を作る光景を何度も目の当たりにしました。

しかし、震災から1か月ほどたつと薬も安定的に供給され、医療は落ち着きを取り戻しつつありましたが、各医療支援チームからは血圧の高い患者が多いと度々報告を受けました。有効な手立てがなく困っていた時に、自治医科大学循環器内科教授の苅尾先生が避難所を訪問され、窮状を伝えるとDCAPネットワークシステムを紹介していただきました。渡りに船とばかりに話は進み、4月29日に南三陸町に導入されました。

このシステムは「震災後は血圧が上昇し心血管イベントが増える」という阪神淡路大震災を経験された苅尾先生の発案で東日本大震災後に開発されました。ICT(情報通信技術)を利用して血圧・脈拍データを集積し、自治医科大学でデータを解析し、被災現場の医師に負担を掛けず、ハイリスク患者を抽出して現地の医師に報告し、ピンポイントにケアすることで心血管イベントを抑制することを目的としたシステムです。当初は震災急性期の利用を想定して開発されましたが、血圧の季節変動を鋭敏にとらえ、過去の血圧データをもとに迅速に対応することで季節変動幅を最小限に抑え、イベントの発症抑制に有効であることがわかり、現在も使用しています。

**【震災後の医療の復興状況】**

震災1か月後に開設された南三陸診療所はプレハブでできており、夏の厳しい暑さと冬の寒さに耐え診療を行ってまいりました。町内の開業医が6件から2件に減ったために、診療所に通院する患者さんが増え、震災前以上に待ち時間も増加しました。患者さんもこの厳しい環境で診療を待ち続けたのです。また、初めの1年間は検査体制も不十分でCT検査や内視鏡検査をするために、30Km程離れた病院まで患者さんを搬送するような状況でした。2年目からは外来検査は震災前のレベルに戻ったものの、依然として町内に入院施設がなく入院のために遠く離れた病院まで搬送する状況が続いてまいりました。2015年12月に南三陸病院が開設され、ようやく町内で入院できる設備が整いました。

**【DCAPネットワークシステムの成果と今後の抱負】**

DCAPネットワークシステムは導入から8年を超えましたが、厳格な血圧コントロールを維持することができ、その結果、DCAPネットワークシステム登録患者351名中脳梗塞発症患者を1名認めるのみで、心血管イベントの抑制に成功しております。

「震災で助かった命をいかに守っていくか」ということを常に考え、現在も南三陸で診療を行っていますが、その陰で今もなお、苅尾先生をはじめとする自治医科大学循環器内科医局の皆さんが、南三陸町民のために支えていただいていることに感謝しております。今後も心血管イベントゼロを目指し、住民の健康管理を行っていきたいと考えております。



公立志津川病院(震災時)



DCAP・医療支援自治医大チーム



南三陸病院(現在)

## 新入会員の紹介



- 勤務先 三愛病院附属矢巾クリニック
- 職名 医師
- 氏名 田代 敦
- 入会日 令和5年4月1日
- 出身大学 東海大学医学部
- 診療科 循環器内科
- 趣味 ゴルフ、スポーツ観戦、読書

初めての先生も沢山おられますので、少し長い自己紹介をお許し下さい。私は大学卒業後に岩手医大第二内科に入局し、第二病理で心臓・腎臓病理を学び、心筋生検電顕組織研究で学位を得ました。その後の大半は岩手医大循環器医療センター循環器内科医として勤務し、2019年には生理機能超音波センター併任で矢巾新病院への大移転も経験しました。2020年から矢巾クリニック非常勤医として、大動脈弁狭窄や僧帽弁閉鎖不全で透析困難例への大動脈弁留置術(TAVI)や僧帽弁修復術(MitraClip)、心房細動を併発した透析や末期CKD例への左心耳閉鎖術(Watchman)など、自ら岩手医大循環器内科へ紹介し初めて経験するカテーテル治療に携われました。特に心エコーが専門ですが、上記治療はハイブリッド手術室にて全身麻酔下の経食道心エコーガイドで行われ、検査室と手術室勤務が大半という生活でした。矢巾クリニックに通ううちに、先生方やスタッフが忙しくも大変温かく魅力を感じ入職を希望し、4月から入職させて頂きました。

御存知の様に矢巾クリニックは透析などCKD治療の専門施設ですが、CKDでは心臓血管病併発が高い頻度で見られます。

今回月曜日～金曜日に循環器内科専門外来を行う事となりました。患者さんとじっくり対話しながら診療ができる環境を整えて頂き、診察室に心エコー装置を置き、専門技師が行う各種血管エコー、ホルター、CT、足趾までの血圧脈波なども駆使し、迅速な診断と治療に努めたいと思います。岩手医大循内非常勤医としても、附属病院での経食道心エコーは引き続き手伝い、密な連携を図っていきます。

紫波郡医師会には医局同門・同級生・知人の先生方も沢山おられ、心強く思っております。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



- 勤 務 先 ふるだて加藤肛門外科クリニック
- 職 名 副院長
- 氏 名 加藤 久仁之
- 入 会 日 令和5年4月1日
- 出身大学 岩手医科大学
- 診 療 科 肛門科・外科
- 趣 味 ドライブ

2023年3月に盛岡赤十字病院を退職し、4月より、ふるだて加藤肛門外科クリニックにて勤務することとなりました。

肛門疾患に対する手術、また、直腸脱に対する腹腔鏡下手術を盛岡赤十字病院外科と共同で行っております。直腸脱でお困りの患者様がおりましたらご相談いただけましたら幸いです。よろしくお願いいたします。



- 勤 務 先 栃木医療センター(兼盛岡赤十字病院非常勤)
- 職 名 小児外科 医長
- 氏 名 小林 めぐみ
- 入 会 日 令和5年4月1日
- 出身大学 岩手医科大学
- 診 療 科 小児外科
- 趣 味 入浴、子供たちとの散歩

矢巾町出身で、岩手の小児医療に携わりたいと医師になりました。約15年間、初期研修から小児外科の専門診療まで大学を中心におりましたが、少子化や医療の集約化が進む中で今後を考え、栃木で小児泌尿器の専門を勉強すべく移動しました。家族はこちらにおり、育児と仕事の両立は大変ですが、岩手の子供たちのためにも頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 【令和5年度役員及び事業担当】

役 職	氏 名	担 当	岩手県医師会ほか 委 員 会 ・ 部 会
会 長	木 村 宗 孝	介護保険／病院 自浄作用活性化委員会 医療問題対策室	岩手県医師会副会長 日本医師会代議員
副会長	藤 島 幹 彦	地域医療／診療所 自浄作用活性化委員会 医療問題対策室	診療所部会 行政窓口
	加 藤 博 巳	地域医療／保健医療	保健問題協議会・行政窓口 いわて医師協同組合理事
理 事	関 英 政	総務／保健医療	医師国保組合 糖尿病対策委員会
	箱 崎 誠 司	総務／福利厚生／災害医療	災害医療コーディネーター
	野 崎 有 一	総務／地域医療／生涯教育	難病対策委員会 生涯教育委員会
	遠 藤 直 樹	福利厚生／広報	選挙管理委員会
	佐 藤 義 浩	地域医療／生涯教育	感染症対策委員会 医師国保組合委員 学校医部会
	堀 江 圭	産業保健／災害医療	災害医療コーディネーター
	松 尾 力	地域医療／産業医／勤務医 救急医療担当	産業医部会・勤務医部会
	早 坂 朗	広報／地域医療	眼科医会・広報委員会
	田 中 健太郎	地域医療／小児科部会	盛岡小児科部会
監 事	直 島 淳 太	地域医療	警察医・検案医委員会
	伴 亨	地域医療	精神科医会
顧 問	平 井 博 夫	自浄作用活性化委員会 医療問題対策室	

任期：令和4年4月25日～令和6年定例総会終結時まで

## 【令和5年度学校医一覧】

## 【紫波町】

区分	学校名	医療機関名	医師氏名	電話番号	備考
内 科	日詰小学校	はたふく医院	旗 福 公 正	672-2121	
	赤石小学校	川守田医院	川守田 安彦	676-5553	
	古館小学校	加藤胃腸科内科医院	加 藤 博 巳	672-3699	
	西の杜小学校	なおしま医院	直 島 淳 太	673-6967	
	紫波東小学校	紫波地域診療センター	小 野 満	676-3311	
	紫波第一中学校	渡辺内科医院	渡 辺 立 夫	672-3667	
	紫波第二中学校	紫波地域診療センター	小 野 満	676-3311	
眼 科	紫波第三中学校	志和診療所	城 戸 正 美	673-7805	
		紫波中央眼科	早 坂 朗	681-7595	
耳 鼻 咽 喉 科		岩手医科大学附属病院	担 当 医 師		(岩手医大)
		渡辺耳鼻咽喉科アレルギー科	渡 辺 保 次	638-3387	(盛岡市)

内	紫波総合高校	野崎内科・神経内科医院	野 崎 有 一	671-2011	
眼	紫波総合高校	近藤眼科	近 藤 駿	622-2509	(盛岡市)
耳	紫波総合高校	亀楽町通クリニック	小 田 真 琴	651-1601	(盛岡市)

保 育 所	佐比内保育所	紫波地域診療センター	小 野 満	676-3311	
	東部保育所	はごぎ脳神経外科クリニック	箱 崎 誠 司	671-1515	
	古館保育所	紫波中央小児科	武 藤 秀 和	672-1110	

## 【矢巾町】

区分	学校名	医療機関名	医師氏名	電話番号	備考
内 科	徳田小学校	堀江医院	堀 江 圭	681-8868	
	煙山小学校	南矢巾ハートクリニック	佐 藤 義 浩	698-1010	
		高宮消化器内科医院	高 宮 秀 式	697-7030	
	不動小学校	みちのく療育園メディカルセンター	伊 東 宗 行	611-0600	
			川 村 みや子		
	矢巾東小学校	矢巾クリニック 南昌病院	藤 島 幹 彦	697-1131	
			三 浦 秀 悦	697-5211	
矢巾中学校	南昌病院	木 村 宗 孝	697-5211		
		小 原 進			
		西 城 精 一			
		佐 藤 典 子			
矢巾北中学校	南昌病院	市 川 隆			
		木 戸 口 順			
眼 科		やはば眼科	志 和 克 紀	698-3003	
耳 鼻 咽 喉 科		いしかわ耳鼻咽喉科めまいクリニック	石 川 健	611-0133	

内	不来方高校	せき内科胃腸クリニック	関 英 政	698-4441	
眼	不来方高校	やはば眼科	志 和 克 紀	698-3003	
耳	不来方高校	渡辺耳鼻咽喉科アレルギー科	渡 辺 保 次	638-3387	(盛岡市)

保育所	煙山保育園	けんたろうこどもクリニック	田 中 健太郎	656-1011	
-----	-------	---------------	---------	----------	--

## 【令和5年度健診・予防接種等実施医療機関】

区分	医療機関名	電話番号	休日救急当番医	子ども定期 予防接種※1	乳幼児集団健診	高齢者肺炎 球菌予防接種	特定健診(社保)	特定健診(国保)	成人風しん抗体検 査(第5期接種)	子宮頸がん 予防接種	かかりつけ医 炎	婦人科健診
			契 約 日	4/1	4/1	4/1	7/1	4/1	6/1	4/1	4/1	
紫 波 町 17	県立紫波地域診療センター	676-3311	○			○		○	○		○	
	加藤胃腸科内科医院	672-3699	○	○		○	○	○			○	
	川守田医院	676-5553	○	○		○	○	○	○	○		
	志和診療所	673-7805	○	○		○		○				
	紫波整形外科クリニック	656-1150	○									
	紫波中央眼科	681-7595	○									
	紫波中央小児科	672-1110	○	○	○	○			○	○		
	紫波皮フ科医院	672-5134	○									
	なおしま医院	673-6967	○	○		○	○	○	○	○		
	野崎内科・神経内科医院	671-2011	○			○		○	○			
	はごさき脳神経外科クリニック	671-1515	○			○		○				
	はたふく医院	672-2121	○	○		○	○	○	○	○	○	
	平井医院	672-3200	○	○	○	○		○	○	○		
	ふるだて加藤肛門外科クリニック	671-1717	○									
平和台病院 (病院)	672-2266				○							
渡辺内科医院	672-3667	○	○		○			○	○	○		
横川産婦人科	676-3811		○		○			○			○	
矢 巾 町 19	あいのの皮フ科クリニック	697-2150	○						○			
	いしかわ耳鼻咽喉科めまいクリニック	611-0133	○			○			○			
	岩手県対がん協会(すこや館)	618-0150				○	○	○	○			○
	岩手県立療育センター (病院)	601-2777		○								
	E、肌クリニック不來方	698-1152	○									
	おぼない内科クリニック	698-1190	○			○						
	けんたろうこどもクリニック	656-1011	○	○	○					○		
	こずかた診療所	698-3033	○	○		○	○	○	○			
	三愛病院附属矢巾クリニック	697-1131	○			○	○	○	○			
	せき内科胃腸クリニック	698-4441	○	○		○		○				
	高宮消化器科内科医院	697-7030	○	○		○	○	○	○		○	
	徳永整形外科	697-1101	○			○			○			
	成田内科胃腸科医院	698-1212	○	○		○	○	○	○		○	
	南昌病院 (病院)	697-5211	○			○		○				
堀江医院	681-8868	○	○		○		○	○	○			
みちのく療育園MC (病院)	611-0600		○	○	○							
南矢巾ハートクリニック	698-1010	○	○		○		○					
やはば眼科	698-3003	○										
やはば産婦人科(マンモグラフィ)	698-1122										○	
合 計			30	18	4	26	9	18	19	8	7	3

※1 子ども定期予防接種は、年齢条件あり

---

**編集後記**

令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症について、感染症法上の2類相当から5類へ見直しが行われました。今後は原則、季節性インフルエンザと同様の取扱いとなりました。コロナ禍前の日常が戻りつつあります。また、アメリカの有力紙ニューヨーク・タイムズは世界中の記者などの情報をもとに、その年に行くべき旅行先として世界各地の都市や地域を紹介しています。今年1月に「2023年に行くべき52か所」が発表され、県都盛岡市が第2位に選ばれました。そのおかげか岩手にも海外の観光客が多く訪れ、賑わいが出てきているように感じます。今までコロナ禍で何か重くすっきりしない日常が続いていたように感じていましたが、明るい兆候がみえだして嬉しく思います。

先生方の投稿（エッセイ・表紙の写真・絵画など何でも構いません）を随時お待ちしております。ご意見、ご要望がございましたら医師会事務局までお寄せください。

紫波中央眼科 早 坂 朗

発行 紫波郡医師会      発行責任者 木 村 宗 孝  
編集委員 遠 藤 直 樹  
早 坂 朗

【事務局】〒028-3614 岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第5地割335番地  
TEL (019) 611-2211 FAX (019) 611-2216